

石狩市国民健康保険データヘルス計画(案) 【概要版】

平成 年 月
石狩市国民健康保険

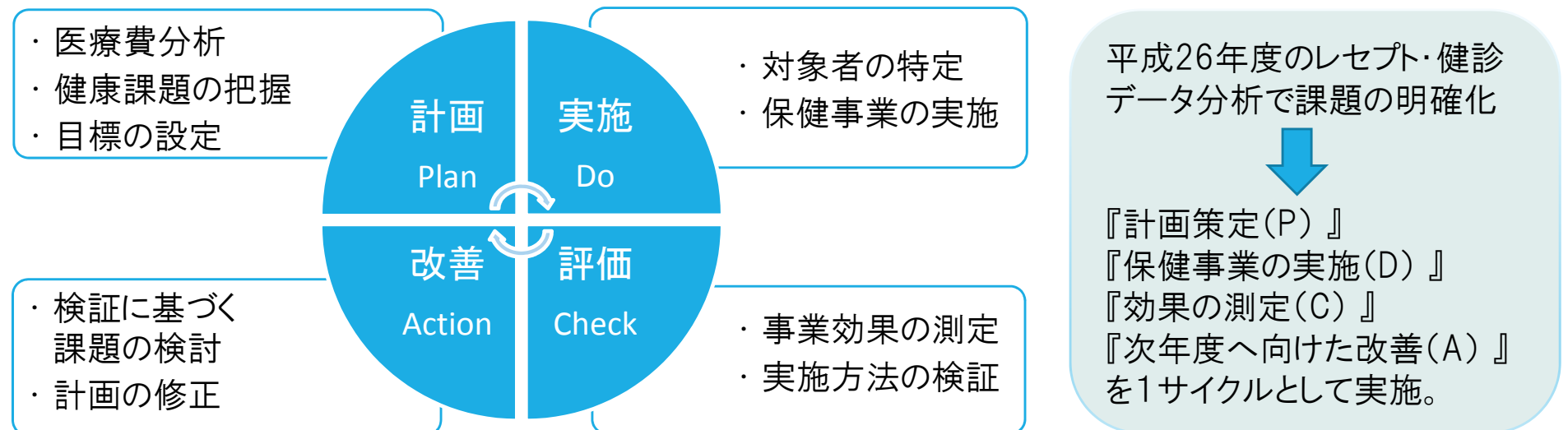
目次

I 基本的事項		
1. 基本方針	P1
2. 計画期間	P2
II 現状分析と課題		
1. 石狩市国保の医療費	P3
2. 疾病別医療費	P5
3. 健診受診者、未受診者の医療費	P8
4. ジェネリック医薬品の普及状況	P9
5. 課題及び対策の設定	P10
III 重点保健事業		
1. 特定健診、39健診の受診勧奨事業	P11
2. 糖尿病性腎症重症化予防事業	P12
3. 受診行動適正化指導事業	P13
4. ジェネリック医薬品普及促進事業	P14
5. こころの健康づくりに関する普及啓発事業	P15

I 基本的事項

1. 基本方針

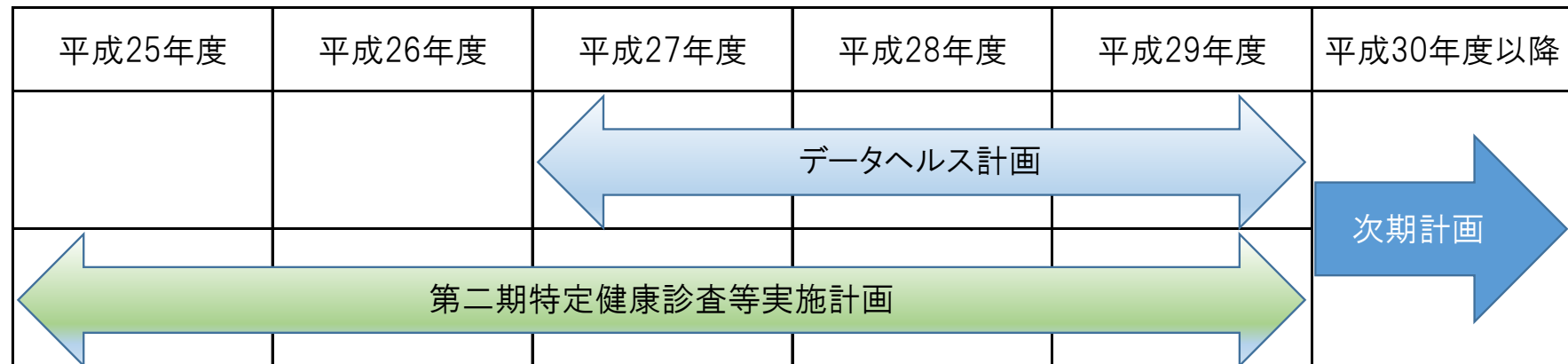
レセプトや特定健康診査のデータ分析に基づく保健事業の実施計画『データヘルス計画』を策定し、被保険者の特徴や健康課題を踏まえた効果的かつ効率的な保健事業を展開する。



I 基本的事項

2. 計画期間

計画期間は、平成27年度から平成29年度までの3年間とし、「第二期特定健康診査等実施計画」等の関連計画と十分な整合性を図る。

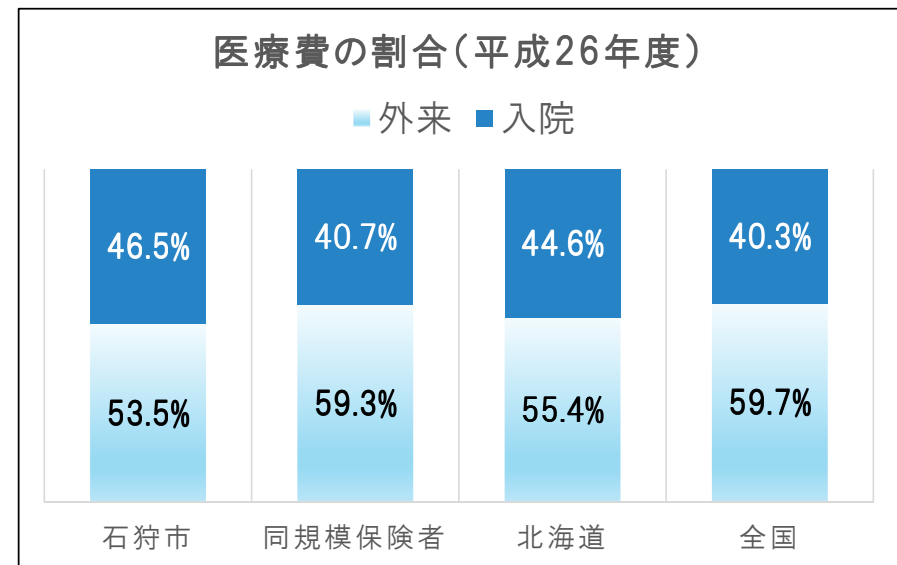
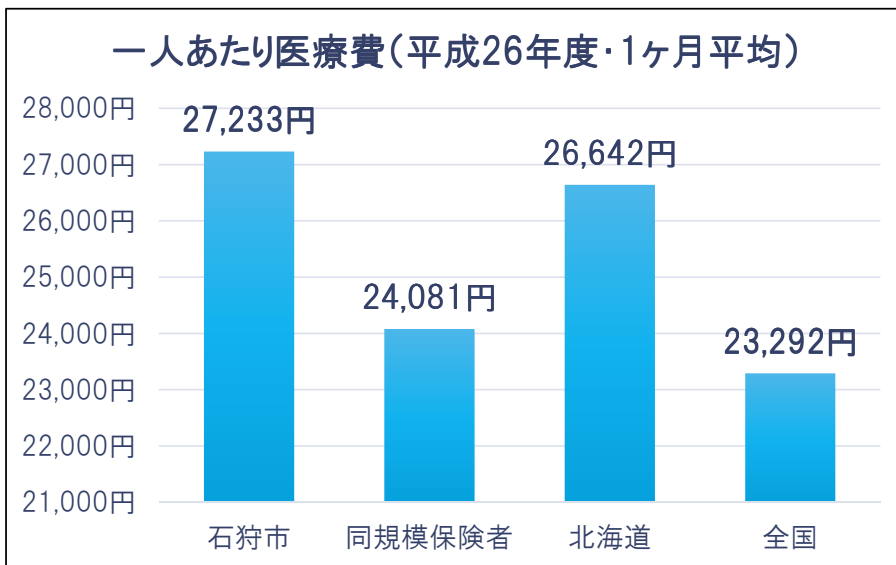


Ⅱ 現状分析と課題

1. 石狩市国保の医療費①

※KDBシステム平成26年度データによる

(KDBシステム…国保連合会から提供されている各種統計情報)



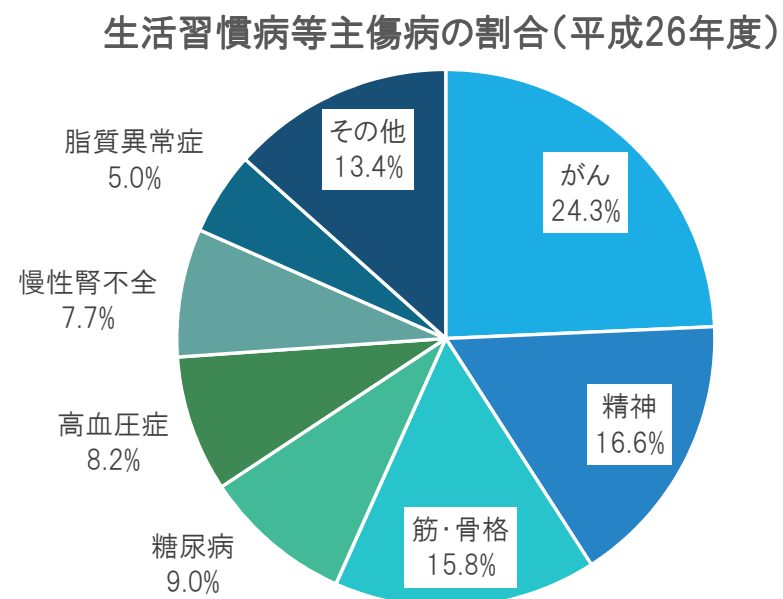
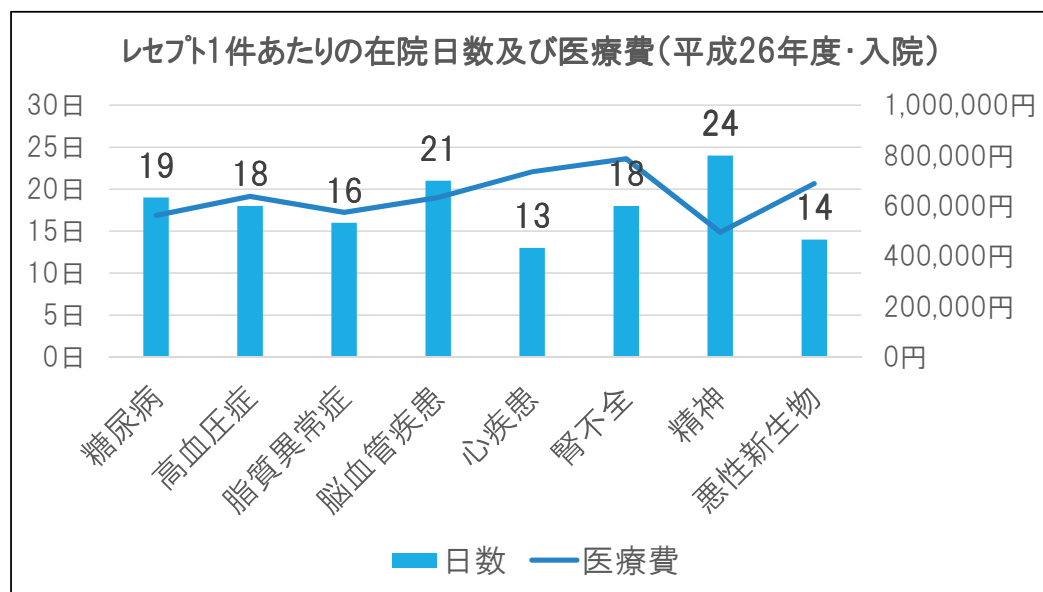
- ◆ 一人あたり医療費(平成26年度の1ヶ月平均)は27,233円で、北海道や全国平均より高い。
- ◆ 医療費のうち、入院の割合が46.5%で、他団体と比較して高い。

Ⅱ 現状分析と課題

1. 石狩市国保の医療費②

※KDBシステム平成26年度データによる

(KDBシステム…国保連合会から提供されている各種統計情報)

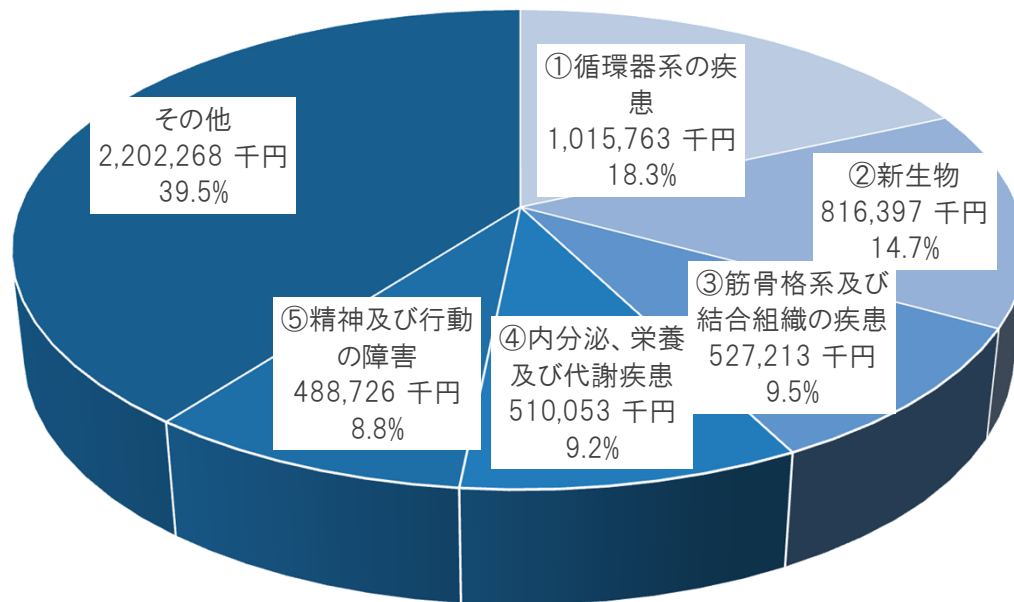


- ◆ レセプト1件あたりの入院日数が多いのは、「精神」「脳血管疾患」「糖尿病」となっている。
- ◆ 生活習慣病等主傷病の割合では、「がん」「精神」「筋・骨格」で全体の5割以上を占めている。

Ⅱ 現状分析と課題

2. 疾病別医療費①

※平成26年度レセプトデータ分析による



①循環器系の疾患

・ 高血圧症、虚血性心疾患、脳梗塞など

②新生物

・ 悪性新生物(がん)など

③筋骨格系及び結合組織の疾患

・ 関節症、腰痛症、坐骨神経痛など

④内分泌、栄養及び代謝疾患

・ 糖尿病など

⑤精神及び行動の障害

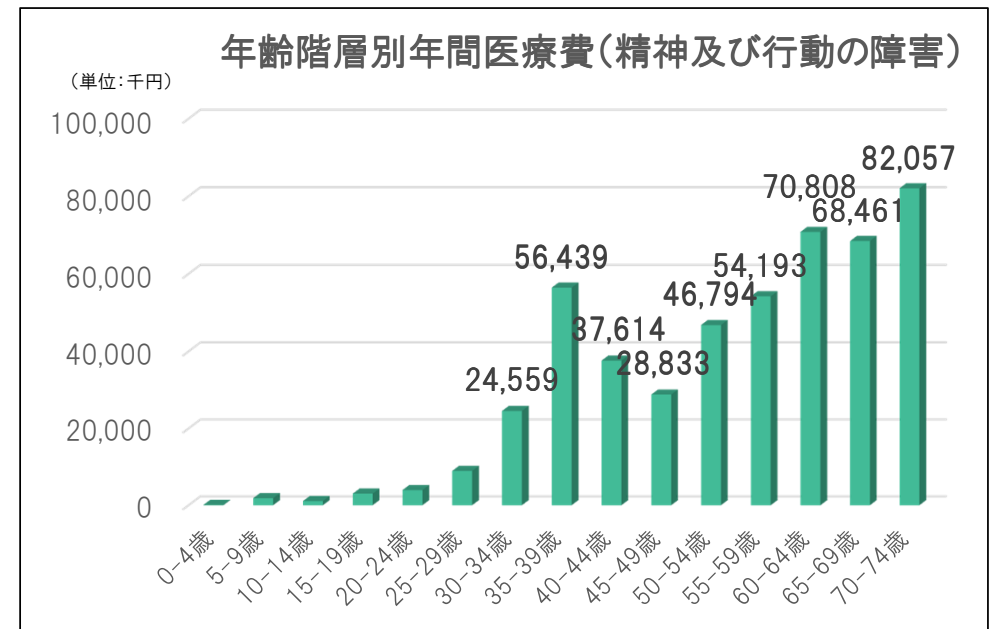
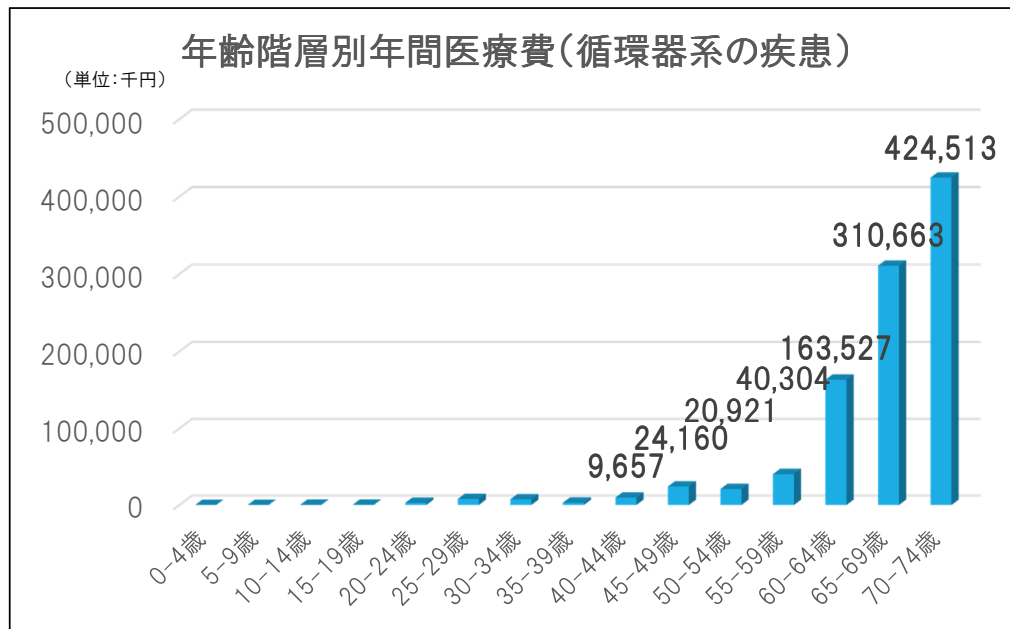
・ 統合失調症、認知症、躁うつ病など

- ◆ 疾病別医療費(大分類)では、「循環器系の疾患」が医療費全体の18.3%で最も多い。
- ◆ 上位5疾病で医療費全体の約6割を占めている。

Ⅱ 現状分析と課題

2. 疾病別医療費②

※平成26年度レセプトデータ分析による



- ◆ 「循環器系の疾患」は、40代から増えており、医療費も高額となっている。
- ◆ 「精神及び行動の障害」は、30代から50代における医療費の疾病分類第1位となっている。

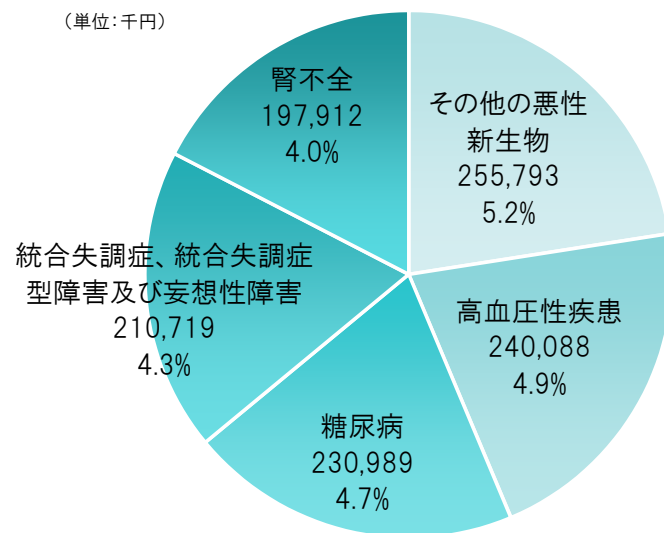
Ⅱ 現状分析と課題

2. 疾病別医療費③

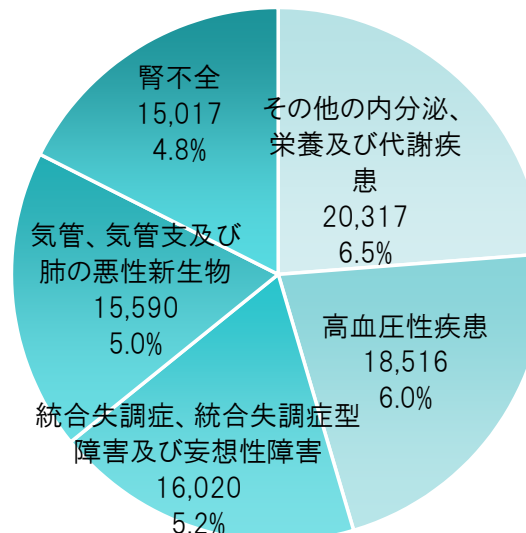
※平成26年度レセプトデータ分析による

上位5疾病(旧石狩地区)

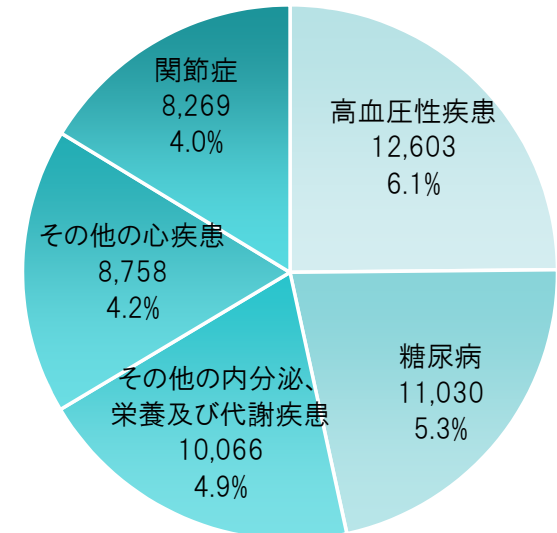
(単位:千円)



上位5疾病(厚田区)



上位5疾病(浜益区)

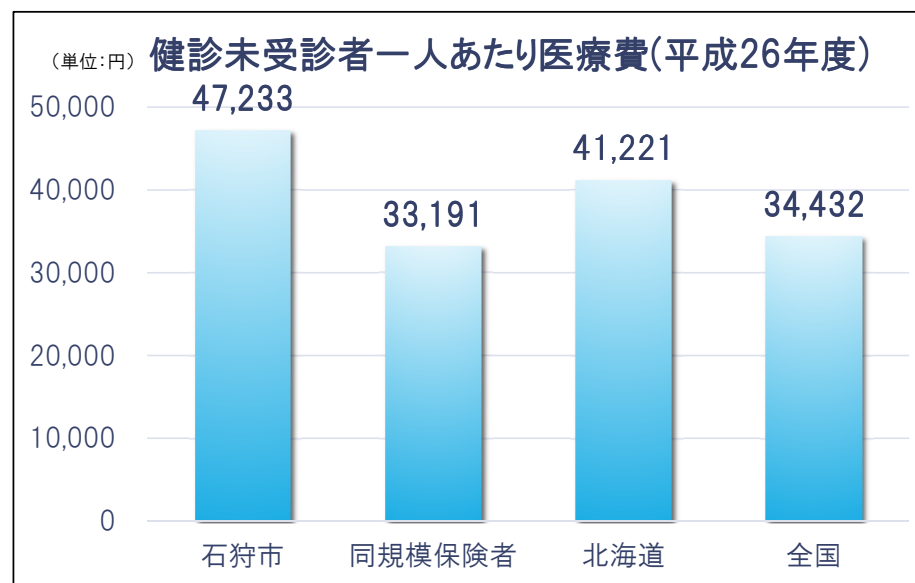
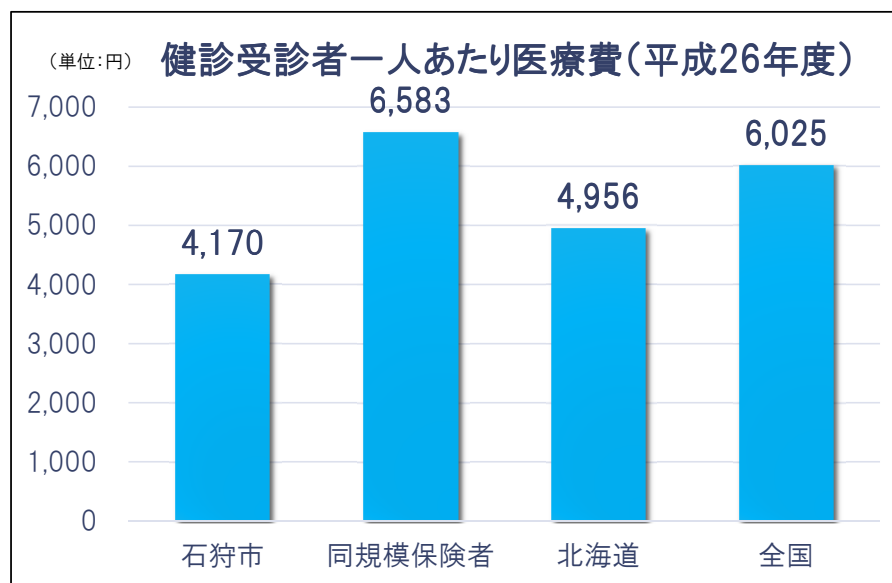


- ◆ 疾病別医療費(中分類)では、「高血圧」「糖尿病」「腎不全」等の生活習慣病関連の割合が高い。
- ◆ 地区比較における「高血圧性疾患」では、厚田・浜益区の割合が旧石狩地区より高くなっている。

Ⅱ 現状分析と課題

3. 健診受診者、未受診者の医療費

※KDBシステム平成26年度データによる

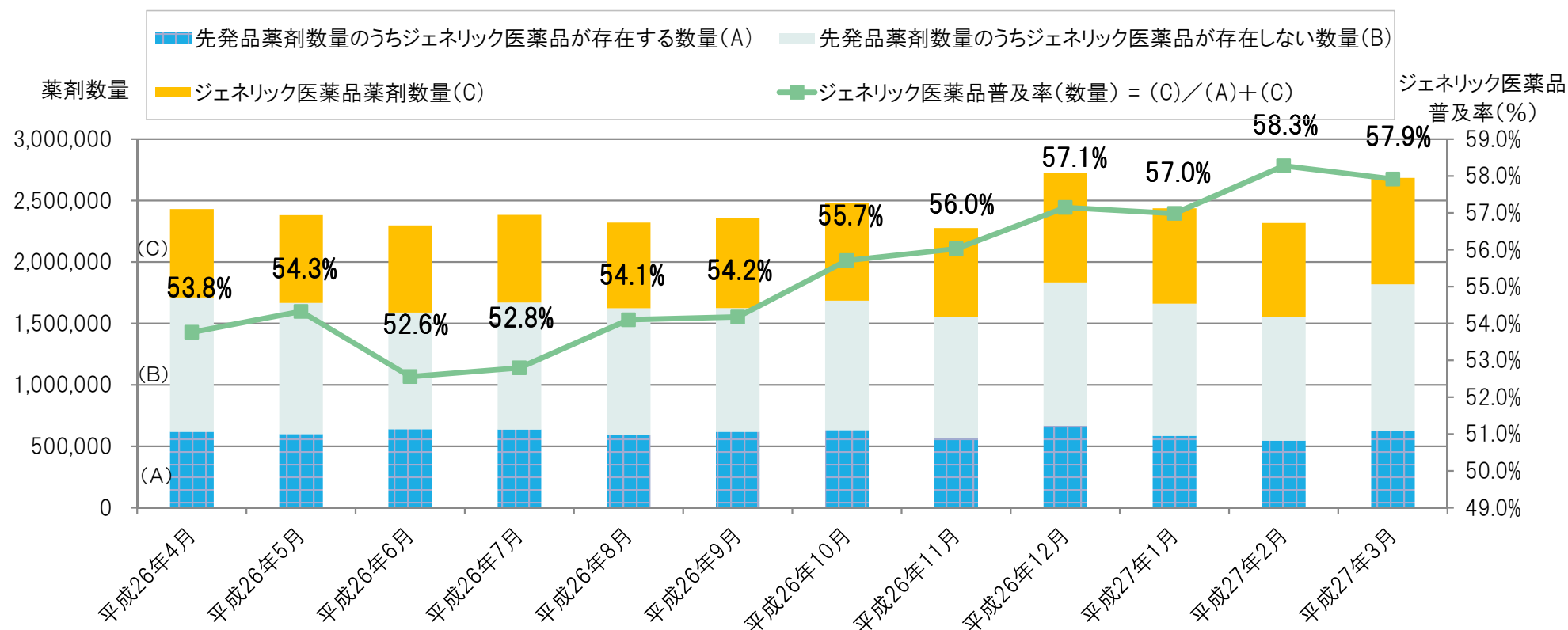


- ◆ 「健診受診者」の生活習慣病に関わる一人あたりの医療費は、健診未受診者の1/10以下。
- ◆ 健診受診者の医療費は、他団体と比較して低く、未受診者の医療費は他団体と比較して高い。

Ⅱ 現状分析と課題

4. ジェネリック医薬品の普及状況

※平成26年度レセプトデータ分析による平均普及率55.3%



Ⅱ 現状分析と課題

5. 課題及び対策の設定

①

- ・【課題】若年層の健診受診率が10%程度と低く、若い世代からの生活習慣病の予防が必要である。
- ・【対策】特定健診、39健診の受診勧奨を強化し、特定保健指導等を通じた生活習慣病の予防を図る。

②

- ・【課題】医療費分析結果から、生活習慣病や重症化した疾病により多額の医療費がかかっている。
- ・【対策】生活習慣病の重症化予防が必要な対象者を特定し、適切な保健指導や受療勧奨を行う。

③

- ・【課題】30代から50代を中心に、「精神」に関する疾病が医療費に占める割合が高い。
- ・【対策】「こころ」の健康づくりを推進するため、普及啓発リーフレットを被保険者へ送付し早期相談へ繋げる。

④

- ・【課題】厚生労働省では、ジェネリック医薬品普及率を平成29年度中に70%以上としている。
- ・【対策】ジェネリックに切替え可能な対象者を特定し、切替えを促す差額通知を実施する。

- ◆ 若年層からの健診受診の動機付け
- ◆ 「こころ」の健康の普及啓発

- ◆ 生活習慣病予防・重症化予防
- ◆ 医療費適正化に向けた取組みの強化

Ⅲ 重点保健事業

1. 特定健診、39健診の受診勧奨事業

【目 的】 国民健康保険被保険者の生活習慣病予防

【概 要】

- ◆受診勧奨通知の送付
- ◆若い世代(20-39歳)からの健診受診の動機付け
- ◆健診結果が受診勧奨判定値以上で医療機関未受診の者が、適切な受診行動を取れるよう支援する。

【現 状】

- ◆特定健診未受診者
(平成26年度) 5,043人
※生活習慣病関連の治療・検査歴のない者
- ◆39健診受診者
(平成26年度・国保加入者分) 21人

【目 標】 ※平成29年度

- ◆実施目標(アウトプット)
対象者への通知率 100%
- ◆成果目標(アウトカム)
 - ・特定健診受診率 7%向上
(平成26年度受診率 23.1%)
 - ・39健診受診率 5%向上

Ⅲ 重点保健事業

2. 糖尿病性腎症重症化予防事業

【目 的】 国民健康保険被保険者の糖尿病重症化予防

【概 要】

- ◆対象者個人への専門職による6カ月間の面談指導・電話指導
- ◆健診検査値とレセプト治療状況から効果の高い対象者を特定

【現 状】

- ◆透析患者(平成26年度)
46人
- ◆指導対象者(平成26年度)
128人
- ※指導により行動変容が期待できる対象者

【目 標】 ※平成29年度

- ◆実施目標(アウトプット)
 - ・対象者の指導実施率 20%
 - ・完了者の生活習慣、検査値改善率 70%
- ◆成果目標(アウトカム)
指導完了後の病状進行 0人

Ⅲ 重点保健事業

3. 受診行動適正化指導事業

【目的】 重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【概要】

- ◆訪問等の案内通知の送付
- ◆専門職による面接・電話指導
- ◆レセプトから疾病の状況等を考慮し、より指導効果の高い対象者を特定

【現状】

- ◆指導対象者(平成26年度)
11人
※3カ月以上連続で重複受診・
頻回受診・重複服薬に該当する
者

【目標】 ※平成29年度

- ◆実施目標(アウトプット)
 - ・対象者への通知率 100%
 - ・対象者の指導実施率 20%
- ◆成果目標(アウトカム)
重複・頻回受診者数、重複服薬者
数 20%減少

Ⅲ 重点保健事業

4. ジェネリック医薬品普及促進事業

【目 的】 ジェネリック医薬品の普及率向上

【概 要】

- ◆差額通知書の送付
- ◆レセプトからジェネリックへの切替えにより薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定

【現 状】

- ◆ジェネリック医薬品普及率
(平成26年度平均・数量ベース)
55.3%

【目 標】 ※平成29年度

- ◆実施目標(アウトプット)
対象者への通知率 100%
- ◆成果目標(アウトカム)
ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 15%向上

Ⅲ 重点保健事業

5. こころの健康づくりに関する普及啓発事業

【目 的】 こころの健康づくりの推進

【概 要】

- ◆こころの相談機関等に関するリーフレットの送付
- ◆保健衛生部門と連携し、早期に相談や医療機関への連携を図る。

【現 状】

- ◆こころの相談機関を知っている者の割合
(平成26年度・国保加入者分)
37.7%

【目 標】 ※平成29年度

- ◆実施目標(アウトプット)
被保険者への通知率 100%
- ◆成果目標(アウトカム)
こころの相談機関を知っている者の割合 10%向上